

## 令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録

開催日時 令和7年12月5日(金) 14:00~15:00

開催場所 箕面東高等学校 会議室

出席者(委員) 福田委員、島本委員、永井委員、伊藤委員、篠崎委員、須貝委員

出席者(学校) 末永校長、川上教頭、宮守首席、山田首席、藤井教諭、吉田教諭、小野教諭、下村教諭

傍聴者 なし

- 協議資料
1. 授業アンケート結果について
  2. 魅力化アンケート結果について
  3. 教科書選定について
  4. 令和8年度入学生(ES12期生)の教育課程について
  5. 3年生(ES9期生)の進路状況について
  6. 探究部の取り組みについて

\*本校教員の発言  
@委員の方の発言

### 議題等(次第順)

#### 【挨拶】

#### 校長挨拶

- ・今年の夏にエアコン(同窓会より)夏、冬会議室使用可能
- ・校外学習(関西万博) 無事に終えることができた
- ・10月 文化祭 ステージ発表、展示、食品(焼きそば、わたがし)  
PTA(うどんとくじびき)
- ・今年度からPaypay使用(関西万博での使用の含め)→金券販売も行う  
文化祭支払い60.2% ペイペイ使用生徒97.6%  
一方で「アプリを入れていない」「現金のほうが管理しやすい」「保護者の許可を得られない」「カメラが壊れていた」などの利用から、使用しない生徒もいた  
金券は一束200円、買い足しをしなくてよくなるため使用しやすかった  
→世の中でも電子決済が多いので、いい機会になっただろう。今後もPaypayを使用したい。

#### 【報告事項】

## 1・授業アンケート結果について（川上教頭）

アンケートの内容を変えずに、毎年同じことを聞いている。令和3年度から実施。第一回は6月実施（前期）→少しずつ肯定的な意見が増えている。

「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」横ばい、もしくは下がっている年もある。授業の新鮮味が少なくなってきたのかもしれない。生徒の興味関心を惹くための工夫が必要か。

## 2・魅力化アンケート結果について（川上教頭）

・令和4年スタート 高1対象、入学して3か月（7月）くらいに行う

・現在の希望する進路について、「決めていない」と回答した生徒は、去年は4割くらい、今年は6割くらいに増えている。

・自転車通学者は9割を占める。

・高校選んだ利用 「5 学習内容や進度が自分に合っているから」が多い。「7 通学が便利」は箕面萱野駅ができた影響か、割合が増えた。「13 制服が気に入った」「15 保護者やきょうだい、先輩のすすめ」も高い割合をキープ。

・入学前のイメージについて、「3 概ねイメージどおり」が4割。「5 印象が悪い」が1割もない。イメージはよくなったか。

・学校全般の満足度「1 非常に満足している」「2 やや満足している」が合わせて7割。なお、去年は6割。まったく満足していないは0。

・地域別受験者について豊中市が半減、吹田市も減った。箕面市は増えている。茨木は横ばい。

@箕面萱野駅ができた影響は？

\*千里中央発がなくなったため、学校に来るまで30分くらい短縮された。

@箕面萱野駅から頻繁にバスは出ているのか？

\*出ている。ただし阪急宝塚線を使用している生徒は通学時間が増えただろう。

\*箕面萱野駅経由になったので、時間がかかる。

@バスの代金が上がった。千里中央に行くには不便になった。

\*箕面森町に行くバスも減った。

@受験者数の変化について、令和6年度より令和7年度のほうが減った。中学校側の分析によると、令和6年度は、募集人員により箕面学園さんに行けない生徒が、箕面東を希望した。今年、箕面学園さんの募集人員が昨年より増えたので、箕面東さんに行く生徒が少なくなるかもしれない。箕面東さんは募集人員を減らしたので、逆に「箕面東に行けない！」と困惑

している子もいる。

\*11月の希望調査において、本校は1.11倍。昨年の11月調査においては、147人希望で、実際に受験したのは118人。このように、11月調査で本校を希望していても、別のところに行こうと思う子たちが増えるかもしれない。

@箕面東の倍率を見て、「箕面東は受かるか不安だから、福井高校に行く」とすぐに言ってきた生徒もいる。

@私学は奨学金を残して授業料を無償にしている学校もある。入学したらお金がもらえるという状況で、私学に行こうと思う生徒もいる。我々も進路指導が難しい。

\*令和6年度(171人)と令和7年度(121人)では受験者の母数が違う。次年度以降は豊中市の学校へのアピールも必要だと考える。

@大阪府下なら、私学の専願率は2割。ただし北摂の中学校は、おとしは2割程度、昨年度は5割まで上昇。

\*箕面萱野駅ができたことで、北摂地域の子が市内で出やすくなったと考える。

### 3・教科書選定について（藤井教諭）

前回お示ししたものがそのまま採択された。文科省のほうで教科書デジタル化を進める方向で、ハイブリッドの形で教科書を使用するのではないか。

「紙の教科書」「ハイブリッド（紙とデジタル）」「デジタル」の3つのうち、ハイブリッドが多い。今後、高校でも教科書が変わっていくと予想される

### 4・令和8年度入学生(ES12期生)の教育課程について（藤井教諭）

次年度の入学者についての教育課程。1年生は変更なし。

次年度より新しく国際コミュニケーション系列に「ソーシャルスキルパワーアップ講座入門A、B、C」の3講座追加

→日本語指導を必要とする生徒に対しての授業。今年度の生徒状況をふまえて作成。今後、日本語指導が必要な生徒がいたときのために設置。

### 5・3年生(ES9期生)の進路状況について（吉田教諭）

「やるやん！みのひが」がキャッチコピー

・今年度は専門学校40名。

・本日結果がわかった生徒が2名。四年制大学に男子が一名追加で10人、就職(学校紹介)は男子が一名追加で15名になった。

・今年度より「Handy」導入。就職の求人票だけではなく、大学・専門学校希望の生徒も、

自由に内容を検索・閲覧できるようにした。

・エンパワメントスクールになって立命館大学、つくば技術大学(国公立)の合格者が出た。  
→学校推薦型入試(学力試験ではなく、人物重視の試験)で合格。受験する学校の幅が広がった。

・医療系について、昨年度より「医療への道」開講。6人医療系進学、1名医療系就職が決定している。

・仕事、学校をやめたという話も聞く。手厚いサポートを3年間行っているが、進学/就職したあとにつまずいて、退職退学につながっているのか。

出願手続きができない、などのケースも今年出てきている。サポートについて、徐々に手を離すことも大事か。

## 6・探究部の取り組みについて(宮守首席)

・昨年度 BMX 部を立ち上げた→動画視聴(生徒作成)

・1年前に発足、先日大会に出場。部員が1人加わった。

・11月15日、16日 イベント実施 スタッフ合わせて100人を超えるイベントになった。

→公立高校定員割れ、少子化=施設の活用ができていない

→「地域貢献」をテーマに、自分の「個性」「得意」を生かして活動

例：放送、パフォーマンス、小学校へのボランティアなど

・中学校の部活動の地域移行について、受け皿が80団体は必要なのに、現在20団体しかない→箕面東として何かできないか？ 学校が新しい中心軸にならないか？

→11月15日、16日で「ミライのブカツ EXPO」と銘打って、大人の手を借りずに高校生と小学生で運営(主体的に動けるように)。参加者72名、運営側10名で実施。

・運営側10名は勝尾寺とコラボレーションして、高校生と小学生のコミュニケーションを図る

・具体的に

高校生メンターのスピーチ→自己表現をする時間が増えた

食育

住職の方から「生きるとは何か」を話していただく

・気づき

「フォースプレイス」を作ろう、という取り組み。

「高校生メンター」の存在 小学生にはとても優しい(人の気持ちがわかる)

高校生にとってもキャリア形成(保護者、先生以外の大人との関わり)ができる

→在学中に企業の方と接点を持つようになった生徒もいる。

・まとめ

学校と地域の協力

活動の継続、拡大

持続可能な連携

子どもの主体的な学び

@部活動の立ち上げについて、委託先の団体が増えた。学校と連携ができたらいいなと思う。この取り組みも伝えられたらと思う。

@ある市は来年から部活動がなくなってしまう。先にやっている団体を見て学べることもあるのでは。

@箕面市では複数年にまたがって部活動指導ができる人を募集している。先ほどの話に出ていた 20 団体というのは、それだけの予算しかつかなかったから。4月になったら予算がまた増え、団体が増えるだろうと思う。

その他

次回は3月を予定している。